

第2章 基本政策② 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】

第4節 生涯学習

施策1 生涯学習の推進

基本計画
掲載頁

84～85

施策の 達成状況	B	A：順調に推移した B：おおむね順調に推移した C：進捗が遅れた	成果	市内に3大学を有する本市の特性をいかし、にいざプラスカレッジ、子ども大学にいざ、各大学公開講座を始め、各公民館や図書館での市民向け講座など、市民の多様化・高度化した学習意欲に対し、様々な学習機会を提供することができた。また、社会教育関係団体に対して補助金の交付や活動支援を行い、市民同士や団体間の交流の促進を図り、生涯学習への市民参加を更に推進した。
			課題	新型コロナウイルスの規制が緩和され、中止や縮小としていた事業を再開したが、ボランティアに関しては、活動の場を提供できない期間が長かったため、この間に数の減少や高齢化が課題となり、新規ボランティアの養成や学習の成果をいかす場づくりが急務となっている。
今後の 方向性	II	I：現状のまま継続 II：一部見直し等の余地がある III：抜本的な見直し等が必要	成果・課題を踏まえた今後の取組方針	デジタル化への対応を踏まえるとともに生涯学習施設の管理運営を行う指定管理者等民間のノウハウもいかしながら、引き続き市内3大学を始めとした関係機関と連携し、様々な年代の市民の多様な学習機会の充実化や、自主的な学習の支援を行う。

【参考】施策領域ごとのKPI※1（重要業績評価指標）

項目	現状値 (策定時点)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標値	令和5年度時点 達成度※2	所管課
出前講座依頼件数／実施件数	125件	310					400件	B	生涯学習スポーツ課
ボランティアバンク登録者数	108人（団体）	90					110人（団体）	C	生涯学習スポーツ課
にいざプラスカレッジ参加者数	77人	73					120人	B	生涯学習スポーツ課

※1 KPIは「施策」ではなく「施策領域」ごとに設定しているものです。

※2 【達成状況評価について】A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：やや遅れ気味

主な施策展開の進捗状況

(1) 生涯学習機会の充実	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○ 様々な年代の市民のニーズに応じた講座が開催できるよう、ニーズ調査や学習プログラムの研究に努めるとともに、各公民館・コミュニティセンターや図書館において地域に根ざした特色ある事業を展開します。	B（おおむね順調）	様々な年代の市民のニーズに対応するため、シニア向けのスマホ講座、子ども向けの講座等を実施した。	教育総務部	中央公民館
○ 性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、多様な市民が、能力開発を通じて自己実現を図る機会を提供します。	B（おおむね順調）	新型コロナウイルス感染症拡大防止策が緩和されたため、市民向け事業から順次再開した。子育て支援のためのブックスタート事業（はじめてブック）は開催場所である3・4か月児健康診査が個別検診となったため実施せず、代替として乳幼児向け絵本リストを配布した。	教育総務部	中央図書館
○ Society5.0に対応できるよう、ICT関連の講座の推進を図ります。	A（順調）	にいざプラスカレッジ・子ども大学にいざ・大学公開講座等、様々な市民に対し学習機会の提供を行った。にいざプラスカレッジでは、修了後市内のボランティア活動について周知し、今後の市民活動につながるよう、機会を提供した。	教育総務部	生涯学習スポーツ課
○	B（おおむね順調）	市民会館の自主事業の一環として、高齢者向けのICT関連講座の実施に向けて指定管理者と協議した。	教育総務部	生涯学習スポーツ課
(2) 生涯学習施設の整備・充実	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○ 幼児から高齢者まで、個々の年代に対応した生涯学習を支えるため、民間等事業者との連携など、効果的な運営を図ります。	A（順調）	市民会館及びふるさと新座館について、指定管理者と連携し、民間のノウハウをいかした様々な事業を行い、効果的な運営を図った。	教育総務部	生涯学習スポーツ課
○ 生涯学習施設について、老朽化対策や通信環境を含めた地域の拠点としての機能強化など、課題解決を図りながら、計画的な整備・改修に取り組みます。	A（順調）	計画的に施設の修繕や機械類の更新工事等を実施し、生涯学習施設の充実を図った。	教育総務部	生涯学習スポーツ課
(3) 自主的な活動の支援・充実	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○ 各施設のホームページの充実など、生涯学習機会に関する情報発信の強化に努め、市民の自発的・自主的な生涯学習活動を支援します。	A（順調）	市民会館及びふるさと新座館について、施設ごとにホームページを作成し、各種事業等の情報発信に努め、市民の自主的な活動の一助となった。	教育総務部	生涯学習スポーツ課
○ 各公民館・コミュニティセンターによる社会教育に関する相談などの充実を図ります。	B（おおむね順調）	各公民館・コミュニティセンターにおいて、社会教育に関する相談を適時受けながら、自主的な活動に対し更なる支援・充実に努めた。	教育総務部	中央公民館
○ 市民の多様化する学習を支援するため、図書館資料の整備・充実、レファレンス機能の拡充など図書館サービスの推進を図ります。	A（順調）	市民の多様なニーズに応えるため図書館資料を整備したほか、電子図書館やメールレファレンス、電子申請による講座申込の実施等、デジタル化への対応を行った。	教育総務部	中央図書館
(4) 学習の成果をいかす仕組みづくり	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○ 図書館などにおける社会教育活動及び地域活動においてボランティアの活躍する機会や場を提供するとともに、ボランティアのマッチングを推進することで、生涯学習の成果を地域社会にいかすことのできる仕組みづくりを進めます。	C（やや遅れている）	生涯学習ボランティアバンクにおいて、ボランティアの活躍する機会を提供し、ボランティアのマッチングを推進した。今後より一層登録を推進し、また市民の多様な学習ニーズやボランティア意欲に応えていくために、事業の周知方法について検討していきたい。	教育総務部	生涯学習スポーツ課
○	C（やや遅れている）	新型コロナウイルス感染症により事業の縮小や中止を余儀なくされたため、ボランティアの活動の場の提供ができない期間が長く、ボランティアの減少や高齢化が課題となった。新規ボランティアの養成及び事業の再開が急務となっている。	教育総務部	中央図書館
○ 市民の多様な学習ニーズやボランティア意欲に応えるため、生涯学習ボランティアバンクへの登録を推進します。	C（やや遅れている）	コロナ禍の影響で、活動を休止したり、登録継続の意向が確認できていない登録者が増加した。今後より一層登録を推進し、また市民の多様な学習ニーズやボランティア意欲に応えていくために、事業の周知方法について検討していきたい。	教育総務部	生涯学習スポーツ課

第5次新座市総合計画前期基本計画 施策評価シート（対象：令和5年度実績）

	(5) 関係機関との連携・協力	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○	市民の生涯学習意欲の高まりに対応するため、小・中学校と連携し、学校施設の地域への開放や余裕教室の活用などを推進します。	A（順調）	ココフレンド及び新座っ子ばわーあっぷくらぶにおいて、学校施設の余裕教室の有効活用に努めた。そのほか市内全小学校の校庭を子どもたちの遊び場として開放するとともに、スポーツ団体等に学校施設を開放し、スポーツに親しみやすい環境づくりに努めた。	教育総務部	生涯学習スポーツ課
○	市民の学習意欲の多様化、高度化に対応した学習機会を提供するため、大学などと連携した事業の充実に努めます。	A（順調）	にいざプラスカレッジ・子ども大学にいざ・大学公開講座等、市内3大学と連携しながら、専門的で質の高い講座や、様々な年齢層に向けた講座を展開した。各大学の有する人材・施設を活用するとともに、個々の大学の特性をいかした講座を実施することで、市民の多様化した学習意欲に応えることができたと考える。	教育総務部	生涯学習スポーツ課
○	生涯学習への市民参加を更に推進するために、関係団体と連携・協力し、市民同士や団体間の交流の促進に努めます。	A（順調）	社会教育関係団体に対し、補助金の交付及び活動支援を行った。各団体が設置目的に基づく事業活動を自主的かつ主体的にできるよう補助を行うことで、市民同士や団体間の交流の促進に寄与した。	教育総務部	生涯学習スポーツ課
○	子どもの読書活動を推進するため、図書館と小・中学校が連携して、子どもの読書活動の機会の拡充を図ります。	B（おおむね順調）	新型コロナウイルス感染症拡大防止策の緩和により、令和5年9月から規模を縮小して小学校への学級訪問を再開した。小中学校への学習支援のため団体貸出を実施した。	教育総務部	中央図書館